



安曇野ふるさとづくり  
応援団

# パートナー通信安曇野 第37号

発行：NPO法人 安曇野ふるさとづくり応援団  
安曇野市穂高柏原1132-2 (有)ライフポート安曇野内  
TEL ; 0263-81-1325

2016.4.6

URL ; <http://azumino-furusato.com/>

編集；木船



## みみより情報①

### 「安曇野さんぽ2016春」のお知らせ！



4年目となる「ふるさとウォッチング」のリメイク版「ふるさとさんぽ」。今年度は昨年秋にスタートした「さとやまさんぽ」と一体化し、新たに「安曇野さんぽ2016春」として5～6月に開催します。「ふるさとさんぽ」は、5月14日の豊科重柳、5月29日の三郷北小倉、6月11日の穂高矢原白金の3コース、「さとやまさんぽ」は6月5日の明科岩洲山の1コース

です。尚、「さとやまさんぽ」は健脚向きで、軽登山の体力と昼食の持参が必要ですのでご注意ください。

各コースとも定員は15名、参加費が1名1000円(中学生以下無料)で、「ふるさとウォッチング」とは異なり、ぬかくどおむすびの振舞いやふるさとパートナーの割引特典はありません。詳しくは別紙案内をご参照ください。

## みみより情報②

### 手仕事交流マーケット

#### 「安曇野さんぽ市 2016春」開催のお知らせ！

今年もやります、「安曇野さんぽ市2016春」。個性溢れるクラブト作品を中心にした手しごと交流マーケットです。手しごと品の“つくり手”と“つかい手”が交流を深めるなかで楽しい人の輪が広がり、大量生産品では味わうことのできない手しごとの大切さ、豊かさ、奥行きを、それ

ぞれの立場で楽しんでもらいたいと思います。

爽やかな5月の風が吹き抜ける広場で開催される手しごとマーケット「安曇野さんぽ市」。お散歩気分どうぞ気軽にご来場ください。



場所：安曇野市穂高交流学習センター「みらい」(メイン会場は芝生の広場)

日時：平成28年5月21日(土)～22日(日)

21日：午前10時～午後5時 / 22日：午前10時～午後3時

主催：安曇野案内人倶楽部(安曇野さんぽ市実行委員会)

## 《重要》 「ふるさとパートナー」更新のお願い

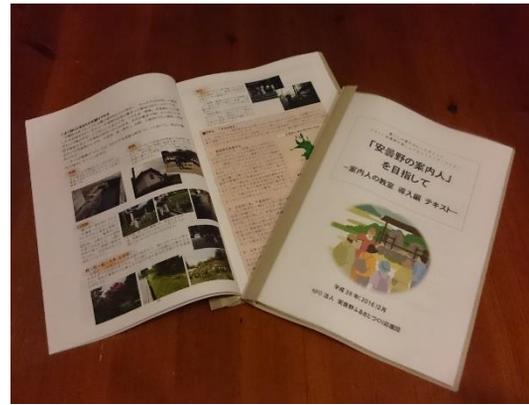
平成27年度「ふるさとパートナー」の会員期限は3月末となっています。平成28年度の継続には年会費1,000円が必要となりますので、同封のご案内を確認の上、是非会員の継続をお願いします。尚、「ふるさとウォッチング」「ふるさとさんぽ」の会場でも手続きが可能です。また、6月末までに更新手続きがされない場合は、パートナー通信の発送を一旦停止させていただくことになりますので、ご了承ください。

## みみより情報③「さとやま楽校 案内人の教室」参加者募集のお知らせ

昨年度国営アルプスあづみの公園との連携事業としてスタートした「さとやま楽校案内人の教室」。2年目となる平成28年度は、まちなか集落を事例とした「実践編」として7月～12月に6回講座として開講します。受講者には今年度の講座内容をまとめた小冊子「安曇野の案内人を目指して～案内人の教室導入編テキスト(右写真参照

)」を差し上げますので、是非ご参加ください。

また、平成28年度の「田んぼの教室」、「さとやま発展講座」、「クラフトゲート匠の杜(下記参照)」の受講生も募集中です。各コースの詳細は、4月23日のさとやま楽校ガイダンスで説明します。詳しくは別紙案内をご参照ください。



## みみより情報④「安曇野クラフトゲート匠の杜」受講生募集

安曇野の里山で育まれてきた「ものづくり文化」を次世代に繋げようと、国営アルプスあづみの公園堀金・穂高地区内のクラフトゲート(右写真参照)をくやまこの学校>

メイン会場にして昨年からは始まった教室の受講生を募集中です。主な講座は下記の通りです。ふるって応募ください。



やまこ(天蚕)の飼育から、繭を使っての作品づくりまで、全14回の連続講座です。

### <座繰り講座>

天蚕繭から生糸を繰る過程を習得し、伝統技術の継承を講座です。

### <木工専科>

無垢材を使用しての家具作りの基本からプロの技まで少人数で学ぶ全48回の講座です。

他に、<機織り講座><皮工芸講座><とんぼ玉講座>なども開講します。

お問い合わせ・お申込みは 事務局(野中) TEL 090-4464-9771

## 報告①「安曇野屋敷林フォーラム2016」が開催されました。



去る3月19日(土)通算6回目となる「安曇野屋敷林フォーラム2016」が安曇野庁舎で開催されました。プロジェクトでは屋敷林の保存と啓発をテーマに活動しています。今回の参加者は過去最高の約170名となり大盛況でした。基調講演は前武蔵野市長で総務副大臣の土屋忠正先生が「武蔵野 都市緑化の思い」と題し、様々な政策で失われている緑の減少を食い止め都市の緑を増やしてきた実績を語られました(右写真参照)。

パネルディスカッションでは市が「緑の基本計画」を計画作成



している立場で、佐々木信大教授、都市計画の細萱課長、屋敷林所有者の中沢様を交えて屋敷林の未来についての意見交換が行われました。当日事前にご案内した三郷の松岡家のケヤキに土屋先生は大変感動されていました(左写真参照)。